

調達要求番号：

陸上自衛隊仕様書	
物品番号	仕様書番号
燃料貯蔵検査	NQ-K100029K
	防衛大臣承認 平成 年 月 日
	作成 平成19年 4月16日
	変更 令和 4年 9月27日
作成部隊等名	北海道補給処

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、陸上自衛隊各駐（分）屯地において保管する、燃料の貯蔵検査の役務について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は、次によるほか、GLT-CG-Z000001による。

1.2.1

貯蔵検査

この仕様書で定めた検査項目に基づき、契約の相手方の検査施設において検査することをいう。

1.2.2

検査試料

貯蔵検査のため、各駐（分）屯地において保管する燃料の一部を採取したものをいう。

1.2.3

各試料単位

各駐（分）屯地から提出された検査試料1個単位をいう。

1.3 検査対象燃料

検査対象燃料は、表1による。

表1-検査対象燃料

品名	注記
自動車ガソリン2号	JIS K 2202の2号のもの。
航空タービン燃料JP-4	広沸点範囲ガソリン形
航空タービン燃料Jet A-1	低析出点灯油形
軽油2号	JIS K 2204の2号のもの。
軽油4号	JIS K 2204の特3号のもの。

1.4 検査の呼び方

検査の呼び方は、仕様書の名称及び検査対象燃料の品名による。

例 燃料貯蔵検査、自動車ガソリン2号

1.5 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部を成すものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a) 規格

JIS K 2202

自動車ガソリン

J I S K 2 2 0 4	軽油
J I S K 2 2 4 9-1	原油及び石油製品-密度の求め方-第1部:振動法
J I S K 2 2 4 9-2	原油及び石油製品-密度の求め方-第2部:浮ひょう法
J I S K 2 2 4 9-3	原油及び石油製品-密度の求め方-第3部:ピクノメータ法
J I S K 2 2 4 9-4	原油及び石油製品-密度の求め方-第4部:密度・質量・容量 換算表
J I S K 2 2 5 4	石油製品-蒸留試験方法
J I S K 2 2 5 8-1	原油及び石油製品-蒸気圧の求め方-第1部:リード法
J I S K 2 2 5 8-2	原油及び石油製品-蒸気圧の求め方-第2部:3回膨張法
J I S K 2 2 6 1	石油製品-自動車ガソリン及び航空燃料油-実在ガム試験方法 -噴射蒸発法
J I S K 2 2 6 5-1	引火点の求め方-第1部:タグ密閉法
J I S K 2 2 6 5-3	引火点の求め方-第3部:ペンスキーマルテンス密閉法
J I S K 2 2 6 9	原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法
J I S K 2 2 7 0-1	原油及び石油製品-残留炭素分の求め方-第1部:コンラドソ ン法
J I S K 2 2 7 0-2	原油及び石油製品-残留炭素分の求め方-第2部:マイクロ法
J I S K 2 2 7 6	石油製品-航空燃料油試験方法
J I S K 2 2 8 3	原油及び石油製品-動粘度試験方法及び粘度指数算出方法
J I S K 2 2 8 7	ガソリン-酸化安定度試験方法-誘導期間法
J I S K 2 2 8 8	石油製品-軽油-目詰まり点試験方法
J I S K 2 5 1 3	石油製品-銅板腐食試験方法
J I S K 2 5 4 1-1	原油及び石油製品-硫黄分試験方法 第1部:酸水素炎燃焼式 ジメチルスルホナゾⅢ滴定法
J I S K 2 5 4 1-2	原油及び石油製品-硫黄分試験方法 第2部:微量電量滴定式 酸化法
J I S K 2 5 4 1-6	原油及び石油製品-硫黄分試験方法-第6部:紫外蛍光法
J I S K 2 5 4 1-7	原油及び石油製品-硫黄分試験方法 第7部:波長分散蛍光X 線法(検量線法)
J I S K 2 5 8 0	石油製品-色試験方法

b) 仕様書

GLT-CG-Z000001 陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

2 貯蔵検査に関する要求

2.1 一般的要求事項

貯蔵検査は、調達要領指定書によって指定された燃料について、表3の検査項目について測定し、品質の総合評価を実施する。

2.2 検査試料

検査試料は、調達要領指定書によって指定された北海道補給処燃料支処から提出される表1の燃料とし、官給する。

2.3 検査項目・試験方法

検査項目及び試験方法は、表3による。

2.4 検査の時期

契約の相手方は、検査の時期について、契約締結後速やかに官側と協議を行う。

2.5 検査試料の採取・運搬

検査試料の採取は、官側が実施し、燃料貯蔵検査用試料運搬容器(以下、“運搬容器”という。)に納め、契約の相手方が運搬容器を受領し、検査施設まで運搬を実施する。

2.6 検査結果の報告

検査結果の報告は、表2の提出時期に表3の様式によって実施する。

3 品質保証

監督及び検査は、契約担当官等が定める監督・検査実施要領による。

4 その他の指示

4.1 官給品

官給品は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、各試料単位ごとの4 L以下の検査試料、試料容器及び運搬容器とする。

なお、試料容器、運搬容器及び受領時から未開封の試料は、検査終了後速やかに、提出された北海道補給処近文台又は早来燃料支処に返納するものとする。ただし、検査後の試料容器の残油については、契約の相手方において処分を実施する。

4.2 提出書類

提出書類は、調達要領指定書によって指定する場合を除き、表2による。

表2-提出書類

提出書類	提出先	部数	提出時期
作業工程表	北海道補給処 該当燃料支処	1	契約後速やかに
受領書		1	検査試料、試料容器及び運搬容器の受領時(官側が準備)
返品書	北海道補給処 該当燃料支処	1	試料容器、運搬容器などの返納時(官側が準備)
検査結果報告書	北海道補給処 該当燃料支処	1	1 検査結果の総合評価が“使用上問題なし”の場合は、検査試料受領後15日以内
	契約担当官等	1	2 検査結果の総合評価が“使用を控える”の場合は、検査終了後速やかに

4.3 仕様書に関する疑義

この仕様書に関する疑義は、すべてGLT-CG-Z000001の8.3による。

表 3-検査結果の報告

検査結果報告書 (自動車ガソリン2号)

試料採取 駐(分)屯地		試料 採取年月日		受領 試料量		使用 試料量	
試料番号		製造年月日					

番号	検査項目	規格	試験結果	試験方法	部分合否
1	外観	清澄		目視	
2	色相	オレンジ系色		目視	
3	密度 (15 °C, g/cm ³)	0.783以下		JIS K 2249-1, -2又は-3	
4	蒸気圧 (37.8 °C) kPa	44以上78以下		JIS K 2258-1 又は-2	
5	実在ガム (mg/100 ml)	5.0以下		JIS K 2261	
6	酸化安定度 min	240以上		JIS K 2287	
7	銅板腐食 (100 °C, 30分)	1以下		JIS K 2513	
8	蒸留性 状	10% 留出温度 °C	70以下	JIS K 2254	
		50% 留出温度 °C	75以上110以下		
		90% 留出温度 °C	180以下		
		終点 °C	220以下		
		残油量 容量%	2.0以下		
総合 評価	1 使用上問題なし		検査実施日		
	2 使用を控える		事業所名: 代表者名: 検査実施担当者名:	印 印	

表3-検査結果の報告 (続き)

検査結果報告書 (航空タービン燃料JP-4)

試料採取 駐(分)屯地		試料 採取年月日		受領 試料量		使用 試料量	
試料番号		製造年月日					

番号	検査項目	規格	試験結果	試験方法	部分合否
1	外観	清澄透明で不溶解の水、沈殿物及び浮遊物がないこと		目視	
2	色相	記録		JIS K 2580	
3	密度 (15 °C, g/cm ³)	0.751~0.802		JIS K 2249-1, -2, -3又は-4	
4	実在ガム (mg/100 ml)	7.0以下		JIS K 2261	
5	蒸留性 状	初留点 °C	記録	JIS K 2254	
		10 % 留出温度 °C	記録		
		20 % 留出温度 °C	100以上		
		50 % 留出温度 °C	125以上		
		90 % 留出温度 °C	記録		
		終点 °C	270以下		
		残油量 容量%	1.5以下		
		減失量 容量%	1.5以下		
6	銅板腐食 (100 °C, 2h)	1 以下		JIS K 2513	
7	析出点 °C	-58以下		JIS K 2276	
8	酸価 mg KOH/g	0.015 以下		JIS K 2276	
9	蒸気圧 (37.8 °C) kPa	14~21		JIS K 2258-1 又は-2	
10	水溶解度 (界面状態)	1b 以下		JIS K 2276	
11	微粒子状雑物 mg/L	1.0以下		JIS K 2276	
12	導電率 pS/m	150~600		JIS K 2276	
総合 評価	1 使用上問題なし		検査実施日		
	2 使用を控える		事業所名:		
			代表者名:	印	
			検査実施担当者名:	印	

表3-検査結果の報告 (続き)

検査結果報告書 (航空タービン燃料「Jet A-1」)

試料採取 駐(分)屯地		試料 採取年月日		受領 試料量		使用 試料量	
試料番号		製造年月日					

番号	検査項目	規格	試験結果	試験方法	部分合否
1	外観	清澄		JIS K 2276	
2	色相	記録		JIS K 2580	
3	密度 (15 °C, kg/ml)	775.0~840.0		JIS K 2249-1 又は-2	
4	実在ガム (mg/100 ml)	7.0以下		JIS K 2261	
5	蒸留性 状	初留点 °C	記録	JIS K 2254	
		10 % 留出温度 °C	205.0以下		
		50 % 留出温度 °C	記録		
		90 % 留出温度 °C	記録		
		終点 °C	300.0以下		
		残油量 容量%	1.5以下		
		減失量 容量%	1.5以下		
6	銅板腐食 (100 °C, 2h)	1以下		JIS K 2513	
7	析出点 °C	-47.0以下		JIS K 2276	
8	酸価 mg KOH/g	0.015以下		JIS K 2276	
9	微粒きょう雑物 mg/L	1.0以下		JIS K 2276	
10	導電率 pS/m	50~600		JIS K 2276	
11	引火点 °C	40.0以上		JIS K 2265-1	
12	熱安定度	試験温度 °C	260以上	JIS K 2276	
		フィルター差圧 kPa	3.3以下		
		管堆積度 (目視)	3未満で孔雀模様や異常色相堆積物なし		
総合 評価	1 使用上問題なし		検査実施日		
	2 使用を控える		事業所名: 代表者名: 検査実施担当者名:	印 印	

表3- 検査結果の報告 (続き)

検査結果報告書 (軽油 2号)

試料採取 駐(分)屯地		試料 採取年月日		受領 試料量		使用 試料量	
試料番号		製造年月日					

番号	検査項目	規格	試験結果	試験方法	部分合否
1	外觀	清澄		目視	
2	色相	記録		JIS K 2580	
3	密度 (15 °C, g/cm ³)	0.86以下		JIS K 2249-1, -2, -3又は-4	
4	引火点 °C	50以上		JIS K 2265-3	
5	蒸留性状 90%留出温度 °C	350以下		JIS K 2254	
6	硫黄分 質量%	0.0010以下		JIS K 2541-1, -2, -6又は-7	
7	流動点又は目詰まり点 °C	流動点 -7.5以下		JIS K 2269	
		目詰まり点 -5以下		JIS K 2288	
8	10%残油の残留炭素分 質量%	0.1以下		JIS K 2270-1 又は-2	
9	動粘度 (30 °C) ml/s	2.5以上		JIS K 2283	
総合 評価	1 使用上問題なし		検査実施日		
	2 使用を控える		事業所名:		
			代表者名:	印	
			検査実施担当者名:	印	

(続字)

表3-検査結果の報告(続き)

検査結果報告書(軽油4号)

試料採取 駐(分)屯地		試料 採取年月日		受領 試料量		使用 試料量	
試料番号		製造年月日					

番号	検査項目	規格	試験結果	試験方法	部分合否
1	外観	清澄		目視	
2	色相	記録		JIS K 2580	
3	密度(15℃, g/cm ³)	0.86以下		JIS K 2249-1, -2, -3又は-4	
4	引火点 ℃	45以上		JIS K 2265-3	
5	蒸留性状 90%留出温度 ℃	330以下		JIS K 2254	
6	硫黄分 質量%	0.0010以下		JIS K 2541-1, -2, -6又は-7	
7	流動点又は目詰まり点 ℃	流動点 -30以下		JIS K 2269	
		目詰まり点-19以下		JIS K 2288	
8	10%残油の残留炭素分 質量%	0.1以下		JIS K 2270-1 又は-2	
9	動粘度(30℃) ml/s	1.7以上		JIS K 2283	
総合 評価	1 使用上問題なし		検査実施日		
	2 使用を控える		事業所名:		
			代表者名:	印	
			検査実施担当者名:	印	

調達要領指定書	発簡番号	0001
	調達要求番号	4MCQ1CL0001
	調達要求年月日	令和6年4月8日
	作成部隊	装備計画部 需品課
	作成年月日	令和6年4月1日
品名	燃料貯蔵検査, 航空タービン燃料Jet A-1	
仕様書番号	NQ-K100029K	

指定事項：次について、仕様書を補足する。

1.3 検査対象燃料

検査対象燃料の品名は、“航空タービン燃料Jet A-1”とする。

2.2 検査試料

a) 検査試料は、陸上自衛隊北海道補給処早来燃料支処及び近文台燃料支処から官給する。

1) 近文台燃料支処

〒 070-0821

旭川市字近文5線2号

電話番号：(0166) 51-6031 内線(6332)

2) 早来燃料支処

〒 059-1503

勇払郡安平町東早来番外地

電話番号：(0145) 22-2505 内線(235)

b) 検査予定件数は、次によるものとし、契約の相手方は、検査件数及び試料受領日などについて、該当各燃料支処と調整する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
近文台	0	0	0	2	4	2	3	3	4	0	0	0	18
早来	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7	14
計	0	0	0	2	4	9	3	3	4	0	0	7	32

注記 検査予定件数は、あくまで予定であり、実際の件数は増減あり。

2.6 検査結果の報告

表3の“検査結果報告書(航空タービン燃料Jet A-1)”中、引火点の規格“40.0以上”を“38.0以上”に改める。